

第27期・7部会の2号議員を確定

役員議員改選

宇治商工会議所では、現在第27期役員議員の改選作業を進めています。

議員定数80名のうち、各部会からの推薦により選任される2号議員27名が8月30日に確定しました。観光部会については、被推薦者より辞退の申出があったため、現在、改めて選任作業を進めているところです。

今後は、観光部会2号議員1名と選挙による1号議員40名と、1・2号議員の協議による3号議員12名を順次選任する予定です。

第27期の2号議員に選任された方は次の各氏です。(順不同・敬称略)

商業部会 太田電機(株) 太田勝啓、(有)サワキ 佐脇 至、
(株)シンキ 信貴豊長、樋口鉱泉(株) 樋口始郎、
村田寝具(株) 村田貞美、(有)宇城彩葉庵ふくとく 増田 進、
(株)ジーシーエム 高見 進、(株)ミヤモト 宮元亀一、
(株)ユーサイド 久保田良則、ペーハーセブン ヤマダ 山田満信、
(有)はせ川 長谷川勝己

茶業部会 共栄製茶(株) 森下康弘

文化部会 (有)キョーカン 橋内勇生、(株)近畿 川嶋利春、
(有)花和商店 石井信人

金融部会 京都中央信用金庫宇治支店 柴田晃央

工業部会 関西電力(株)送配電カンパニー京都支社電力本部伏見配電営業所 高田 仁、
山都産業(株) 安田順治、洛陽プラスチック(株) 本田壽恵子

建設部会 (株)小西工務店 小西敏博、玉井建設(株) 玉井康義、
(株)太陽電気 勝山茂樹、雨堤商店 雨堤孝夫、
(株)中徳木材 中谷雅夫、平和住宅建設(株) 高木健次

交通部会 南村自動車工業(株) 南村康治、南京都自動車産業(株) 臼井龍介

1号議員の立候補届出受付

期間 9月12日～20日
届出先 宇治商工会議所
選挙管理事務長

選挙で選ぶ公選の議員です。
4月1日現在の選挙人名簿に登録された会員に資格があります。

——— 中村真由美

第68回 宇治茶まつり

茶業イベント

開催日時 10月6日(日) 9:00～15:00

開催場所 興聖寺・京都府茶業会館及び府立宇治公園中の島一帯

内容 9:00 名水汲上の儀(於 宇治橋三の間)

10:00 茶祭御献茶式、茶筌塚供養(於 興聖寺)

10:00～15:00

お茶席(於 興聖寺、京都府茶業会館、宇治上神社)

点心席(於 宇治上神社 社務所)

お茶のみコンクール(於 橋島)

お楽しみ抽選会(於 橋島)

茶の木人形展示・販売(於 宇治市観光センター)

お茶券 前売券1枚3,000円(消費税込)

(茶席券2席、点心券、お茶のみコンクール参加券、抽選券等付)

茶券販売所 宇治商工会議所・宇治市観光センター・JR宇治駅前観光案内所・

近鉄大久保駅観光案内所・京阪宇治駅前観光案内所

問い合わせ 宇治商工会議所業務課(TEL23-3101)

宇治茶消費イベント同時開催

(公社)京都府茶業会議所が主体となるイベントも宇治公園中の島一帯で開催されます。山城地域9市町村の特徴ある宇治茶を楽しめる「宇治茶産地めぐり」や、キッズ茶ムリエマスターによる呈茶やおいしい淹れ方などが体験できます。

宇治茶消費イベントの詳細は、(公社)京都府茶業会議所(TEL23-7713)まで問い合わせください。

——— 湯浅公恵

所報
www.ujicci.or.jp
Chamber of Commerce & Industry

Webページには

- ☆ びわ湖環境ビジネスメッセ2019…長浜バイオ大学ドーム
- ☆ 京都創造者大賞2019受賞式・記念講演…京都商工会議所
- ☆ 日商簿記検定3級講座…城南地域職業訓練センター
- ☆ AI時代どのような技術を習得すべきか…城南地域職業訓練センター



2019

9

Monthly Contents

宇治商工会議所

〒611-0021 京都府宇治市宇治琵琶45-13
TEL0774-23-3101 FAX0774-24-6930

京都アニメーション支援金のお願い ご協力ください

宇治商工会議所会員企業である株式会社京都アニメーションで発生した放火事件により、前途有望な多くの尊い命が奪われ、現在も負傷された方々は懸命に治療を受けておられます。そこで、当商工会議所でも8月より負傷者や関係者の方々、また亡くなられた方やご遺族の支援及び会社の再建を願い、支援金を募らせていただく口座を開設しております。また窓口でも9月30日まで受け付けております。

皆様方のあたたかいご協力を引き続きお願い申し上げます。

【振込先口座】

- ・京都銀行宇治支店
普通預金 No : 5075640
- ・京都中央信用金庫宇治支店
普通預金 No : 193864

【口座名義】 宇治商工会議所
京都アニメーション支援金

障害者雇用に必要な施設・設備導入を支援 補助金情報

京都府では、障害のある方の安定的な雇用の確保や就労の機会拡大を図るため、障害者を雇用する上で必要となる施設・設備の整備を行う事業所を支援する「障害者雇用施設整備事業等事業費補助金」を創設されました。

- 対象者** 京都府内に本社があり、事業完了時、障害者法定雇用義務履行等事業主であること
- 対象経費** 障害者を常時雇用する上で必要となる施設・設備の整備及び職場定着に要する経費(例:施設や設備の購入費・工事費・改修費、カウンセラーや支援員への謝金、システム導入費など)
- 補助金額** 上限100万円(対象経費の30%以内)
- 対象期間** 交付決定日～令和2年3月31日(火)
- 申請締切** 令和2年2月3日(月)
- 問い合わせ** 京都府商工労働観光部人材確保推進室(TEL075-682-8918)

障害者法定雇用義務履行等事業主…労働者数に法定雇用率2.2%を乗じて得た数(1未満の端数切り捨て)の障害者を雇用する事業主

詳細は、京都府商工労働観光部人材確保推進室Webページ(http://www.pref.kyoto.jp/koyou/news/general/shise_tuhojokin.html)をご覧ください。

——— 川崎 賢

創業時の資金調達をサポート 宇治市創業支援補助金

宇治市では、現在「宇治市創業支援補助金」の申請を受け付けています。この補助金は、創業者の多くが悩む創業初期に必要な資金の調達を支援する制度で、店舗工事費や備品購入費、広報宣伝費など、創業に要する経費の一部が最大180万円まで助成されます。創業をお考えの方は、この機会にぜひご活用ください。

- 対象者** 平成31年4月1日～令和2年3月31日までの間に宇治市内で創業または第二創業を行う方(個人事業主は、市内に住所を有すること、法人は市内に登記が必要、日本政策金融公庫または京都信用保証協会の保証がある融資を利用する方、市税を完納している方ほか要件有り、そのすべてを満たす方)
- 対象経費** 店舗購入費(土地は除く)、店舗工事費、備品購入費、広報宣伝費等
- 補助金額** 最大180万円(基礎分100万円+加算分80万円)
- ・基礎分—対象経費の1/3
 - ・加算分—(1)市外から移住(10万円)、(2)40歳未満の若者(10万円)
 - (3)市内在住者の新規正規雇用(1人あたり10万円・最大30万円)
 - (4)概ね1年以上使用されていない空き家等を活用(30万円)
- 申込締切** 令和元年10月31日(木)17時まで(宇治市産業振興課必着)
- ※申請された案件は、審査の結果、採択されない場合がありますのでご注意ください。

宇治市創業支援補助金の詳細は、宇治市役所のWebページ(<https://www.city.uji.kyoto.jp/cmsfiles/contents/0000021/21741/boshuuyoukou.pdf>)をご覧ください。

当商工会議所では、宇治市、日本政策金融公庫、京都信用保証協会と連携した創業支援ネットワーク「宇治チャレンジスクエア」で、創業準備段階から資金調達、創業後のフォローアップまで一貫してサポートしてまいりますのでお気軽にご相談ください。

——— 佐々木伸治



令和元年7月期 経営経済動向調査結果

宇城久広域連携事業

宇城久区域商工会議所・商工会広域連携協議会では、景気動向を把握するために、毎年1月と7月の2回、宇治・城陽・久御山区域内に事業所を有する企業1000社を対象に「経営経済動向調査」を行っています。

今回は本年7月に、平成30年7月～12月及び平成31年1月～令和元年6月期実績と、令和元年7月～12月期予測についての調査を行い、377社から回答(回答率37.7%)を得ました。以下は動向調査結果の要約です。

◇業界の景気 —— 先行き不安が顕著に現れる

各企業に関する業界の景況感を全業種でみると、平成30年下期実績では「上昇」とした企業が20.6%、「下降」と回答した企業が31.3%、BSI値は▲5.4であったものが、令和元年上期実績では「上昇」と回答した企業が11.7%に半減、「下降」とした企業も38.6%と増加したことから、BSI値は▲13.5と景気が減退傾向にあることを表す結果となった。令和元年下期予測についても「上昇」と「下降」の乖離幅が広がり、BSI値は▲18.2と、先行きに悲観的な見方をしている企業が多い結果となった。

業種別に令和元年上期実績をみると、平成末期の好景気を牽引していた製造業のBSI値が大幅に悪化、唯一プラスであった建設業においても、その数値は僅かなものである。令和元年下期予測においては、全ての業種のBSI値がマイナスとなり、景気の厳しさが続くと思われる。規模別にみると、上期実績ではA・B規模企業ともにBSI値はマイナスを示し、下期予測についても、さらに悲観的に捉えている企業が多い結果となった。

BSI値とは

企業経営者の景気全般の見通しについて、強気、弱気の度合を示すもので、プラスならば「強気」「楽観」、マイナス(▲)ならば「弱気」「悲観」を意味する。

算出方法は、上昇回答から下降回答を差し引きし、2分の1を乗じて計算する。

業界の景気 項目	平成30年7月～12月 実績			平成31年1月～令和元年6月						令和元年7月～12月 予測		
	上 昇	下 降	B S I	上 昇	下 降	B S I	上 昇	下 降	B S I	上 昇	下 降	B S I
全業種	20.6	31.3	▲5.4	16.0	29.3	▲6.6	11.7	38.6	▲13.5	8.9	45.3	▲18.2
製造業	23.4	28.7	▲2.7	16.4	28.7	▲6.2	9.6	41.2	▲15.8	7.6	48.9	▲20.7
卸・小売業	15.5	44.8	▲14.7	2.4	42.9	▲20.2	10.2	49.2	▲19.5	8.6	58.6	▲25.0
飲食業	8.3	50.0	▲20.9	4.8	28.6	▲11.9	3.8	50.0	▲23.1	4.2	62.5	▲29.2
運輸・通信業	25.0	12.5	6.3	13.3	26.7	▲6.7	12.5	12.5	0.0	0.0	12.5	▲6.3
建設業	28.6	14.3	7.2	27.6	13.8	6.9	22.5	20.4	1.1	16.3	20.4	▲2.1
サービス業	12.8	36.2	▲11.7	17.4	36.2	▲9.4	14.9	31.9	▲8.5	10.9	36.9	▲13.0
A規模企業	24.7	19.7	2.5	17.5	22.7	▲2.6	14.8	33.3	▲9.3	12.3	35.8	▲11.8
B規模企業	19.5	34.5	▲7.5	15.5	31.4	▲7.9	10.9	40.0	▲14.6	7.9	47.9	▲20.0

◇自社の操業度 —— 令和元年上期実績は想定以上の落ち込み

各企業における操業度について、全業種平均のBSI値をみると、平成30年下期実績0.3から8.4ポイントも下降し、令和元年上期実績では▲8.1とマイナス値となった。これは前回調査時の上期予測▲3.7よりもさらに悪化しており、想定以上の落ち込みであったことが伺える。また、令和元年下期予測は▲12.1で、多くの企業では今後の落ち込みを予測している。

業種別にみると、平成30年下期実績では業界の景気が減退する中において、自社の操業度がプラスの業種もあったが、令和元年上期実績では、悪化する景気に伴い、製造業や建設業など前期プラスであった業種でもBSI値がマイナスになっており、操業度の低下が顕著になってきている。また、唯一プラスであった運輸・通信業においても、令和元年下期予測では、プラスマイナス0となり、全ての業種で操業度の低下が見込まれている。

規模別のBSI値では、前期実績がプラスのA規模企業でも、今期実績ではマイナスを示している。また下期予測では改善を示すA規模企業に対し、B規模企業ではマイナス幅が大きくなり、格差は再び拡大すると予測される。

自社の 操業度	平成30年7月～12月			平成31年1月～令和元年6月						令和元年7月～12月		
	実績			予測			実績			予測		
項目	上	下	B	上	下	B	上	下	B	上	下	B
業種	昇	降	S	昇	降	S	昇	降	S	昇	降	S
	I		I	I		I	I		I	I		I
全業種	25.9	25.4	0.3	19.7	27.1	▲3.7	17.6	33.7	▲8.1	13.9	38.0	▲12.1
製造業	30.9	21.8	4.6	21.1	27.6	▲3.3	17.1	34.7	▲8.8	14.6	38.3	▲11.9
卸・小売業	18.9	32.7	▲6.9	9.5	31.0	▲10.7	13.8	34.4	▲10.3	8.9	48.2	▲19.7
飲食業	12.0	48.0	▲18.0	23.8	28.6	▲2.4	15.4	46.1	▲15.4	4.0	60.0	▲28.0
運輸・通信業	25.0	12.5	6.3	13.3	20.0	▲3.3	25.0	12.5	6.3	12.5	12.5	0.0
建設業	28.5	16.3	6.1	26.3	15.8	5.3	22.5	24.5	▲1.0	20.4	22.4	▲1.0
サービス業	19.6	30.5	▲5.5	16.2	33.8	▲8.8	19.6	34.7	▲7.6	15.6	33.4	▲8.9
A規模企業	33.3	19.8	6.8	21.4	20.4	0.5	23.4	32.1	▲4.4	22.3	24.7	▲1.2
B規模企業	23.9	26.9	▲1.5	19.1	29.3	▲5.1	16.1	34.1	▲9.0	11.5	41.8	▲15.2

◇生産高又は売上高 — 令和元年下期ではさらに落ち込むと予測

各企業における生産又は売上高について全体的にみると、平成30年下期実績のBSI値▲1.4が、令和元年上期実績では▲8.9となった。また、前回調査時の上期予測▲4.8よりもマイナス値の悪化が進む結果となった。また、令和元年下期予測のBSI値は▲13.1で、多くの企業では今後も落ち込むことを予測している。

生産又は 売上高	平成30年7月～12月			平成31年1月～令和元年6月						令和元年7月～12月		
	実績			予測			実績			予測		
項目	増	減	B	増	減	B	増	減	B	増	減	B
業種	加	少	S	加	少	S	加	少	S	加	少	S
	I		I	I		I	I		I	I		I
全業種	23.4	26.1	▲1.4	16.9	26.5	▲4.8	18.5	36.2	▲8.9	13.4	39.5	▲13.1
製造業	27.9	24.0	2.0	17.2	26.0	▲4.4	21.5	38.7	▲8.6	14.8	40.1	▲12.7
卸・小売業	16.9	32.2	▲7.7	11.9	33.3	▲10.7	11.9	40.7	▲14.4	8.5	50.8	▲21.2
飲食業	16.0	32.0	▲8.0	19.0	28.6	▲4.8	23.1	46.2	▲11.6	4.0	52.0	▲24.0
運輸・通信業	25.0	0.0	12.5	14.3	21.4	▲3.6	0.0	12.5	▲6.3	12.5	12.5	0.0
建設業	27.1	22.9	2.1	20.7	15.5	2.6	18.8	25.0	▲3.1	19.6	28.3	▲4.4
サービス業	13.3	31.1	▲8.9	15.9	33.3	▲8.7	15.2	30.4	▲7.6	13.3	31.1	▲8.9
A規模企業	28.4	19.8	4.3	19.6	18.6	0.5	19.8	39.5	▲9.9	16.3	30.0	▲6.9
B規模企業	22.0	27.9	▲3.0	16.1	29.1	▲6.5	18.2	35.3	▲8.6	12.6	42.1	▲14.7

◇雇用の状況 — B規模企業は厳しい雇用情勢続く

各企業における雇用の状況を全体的にみると、令和元年上期実績では「増加」とした企業10.1%、「減少」とした企業13.1%、BSI値▲1.5と前期の▲2.8に比べるとマイナスながら若干改善している。規模別では、以前は厳しい状況にあったA規模企業が今期実績でプラスに回復、来期予測もプラスで推移している。B規模企業では厳しい雇用情勢が続くと見られる。

◎当面の経営上の問題点

各企業における経営上の問題点で、全企業を平均して最も多いのは「売上・受注不振」の45.9%であり、ついで「求人難」38.5%、「原材料価格高」31.8%、「人件費の高騰」30.8%、「商品価格・受注単価安」22.8%の順になっており、5期振りに「売上・受注不振」が「求人難」を抜いた。業種別では、運輸・通信業(75.0%)、建設業(51.0%)では「求人難」、製造業(50.5%)、卸・小売業(54.2%)では「売上・受注不振」、サービス業(40.4%)ではその両方が最も多く、飲食業(76.9%)では「原材料価格高」が最も多い。

経営経済動向調査の報告書については、宇治商工会議所webページ(<http://www.ujicci.or.jp/0lkeiei/chosa/index.htm>)にて公開しています。

令和元年7月期 賃金実態調査結果

宇城久広域連携事業

宇城久区域商工会議所・商工会広域連携協議会では、企業の賃金等の実態を把握し、労働環境の整備や雇用の確保など今後の企業経営の参考に供することを目的として、毎年7月に宇治・城陽・久御山区域内に事業所を有する企業1000社を対象に「賃金実態調査」を行っています。

今回は本年7月に、平成30年12月期の基本給や諸手当、平成30年の年間賃金についての調査を行い、216社から回答(回答率21.6%)を得ました。

以下は賃金実態調査結果の要約です。

①業種別平均賃金

区 分	集計 事業所数	集計 人数	平均 年齢	平均 勤続年数	平成30年12月の所定内賃金		年間賃金
					基本給	諸手当	
全業種 平均	196 社	1119 人	43 歳	13 年	264,178 円	49,989 円	4,606 千円
					194,877	25,465	3,037
製造業	91	684	43	13	263,950	47,660	4,724
					205,785	23,470	3,183
卸売業	11	62	39	13	272,229	47,591	4,695
					183,404	18,990	2,903
小売業	26	59	46	16	225,666	47,284	3,806
					152,999	19,482	2,444
飲食業	7	21	39	11	295,476	29,190	4,032
					103,625	6,875	1,423
建設業	29	149	45	12	292,451	62,310	5,033
					207,987	50,785	3,614
その他の 業種	32	144	46	16	243,755	53,460	3,979
					203,522	25,957	2,990

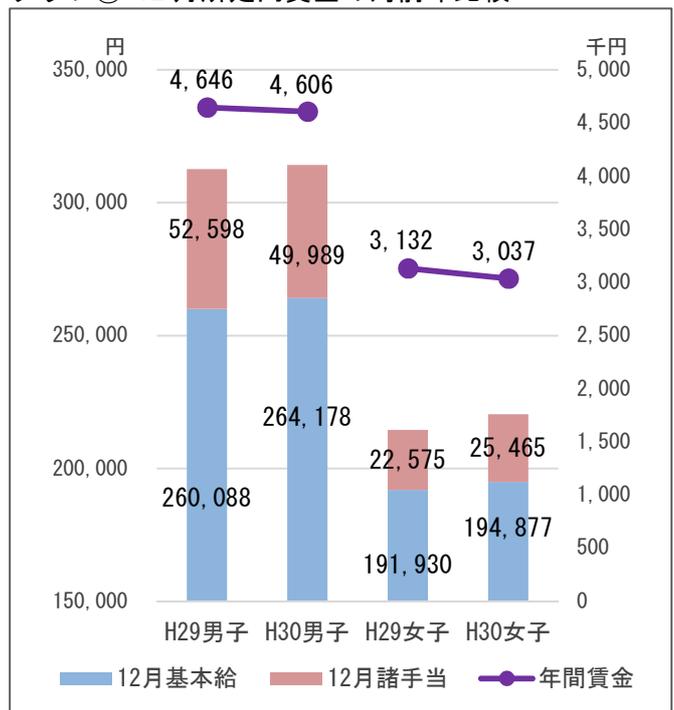
グラフ① 12月所定内賃金の対前年比較

平成30年12月に支払われた基本給は、全業種平均で男子264,178円(43才、勤続13年)、女子194,877円(48才、勤続15年)。諸手当については、業種平均で男子49,989円、女子25,465円であった。

また、平成30年1年間に支払われた年間賃金(所定外賃金・賞与含む)については、全業種平均で男子4,606千円、女子3,037千円となっている。

基本給を業種別にみると、男子では飲食業が295,476円(39才、勤続11年)と最も高く、ついで建設業292,451円(45才、勤続12年)、卸売業272,229円(39才、勤続10年)、製造業263,950円(43才、勤続13年)、その他の業種243,775円(46才、勤続16年)、小売業225,666円(46才、勤続16年)の順で、女子については、建設業が207,987円(49才、勤続13年)と最も高くなっている。

前年と比較すると、所定内賃金は増加しているが、残業手当などの所定外賃金や賞与を含めた年間賃金は減少している。



②規模別平均賃金

区分	事業所数	業種別平均賃金		従業員 1～19人		従業員 20～49人		従業員 50～99人		従業員 100人以上		
		人	円	人	円	人	円	人	円	人	円	
全業種平均	196社	男子	1119	314,167	532	313,837	389	310,080	121	302,505	77	354,774
		女子	328	220,342	187	200,575	80	247,637	35	237,850	26	254,962
製造業	91	男子	684	311,610	270	313,769	277	301,436	72	296,471	65	362,033
		女子	157	229,255	73	197,166	43	269,069	21	233,755	20	256,059
卸売業	11	男子	62	319,820	23	294,366	28	332,301	11	341,273	xx	xx
		女子	31	202,394	16	200,012	13	199,926	2	237,500	xx	xx
小売業	26	男子	59	272,950	39	257,602	xx	xx	20	302,876	xx	xx
		女子	38	172,481	28	144,831	xx	xx	10	249,903	xx	xx
飲食業	7	男子	21	324,666	13	351,769	8	280,625	xx	xx	xx	xx
		女子	8	110,500	6	75,000	2	217,000	xx	xx	xx	xx
建設業	29	男子	149	354,761	87	357,979	62	350,247	xx	xx	xx	xx
		女子	34	258,772	22	264,223	12	248,779	xx	xx	xx	xx
その他の業種	32	男子	144	297,215	100	297,093	14	275,614	18	302,539	12	315,450
		女子	60	229,479	42	228,479	10	222,259	2	220,928	6	251,303

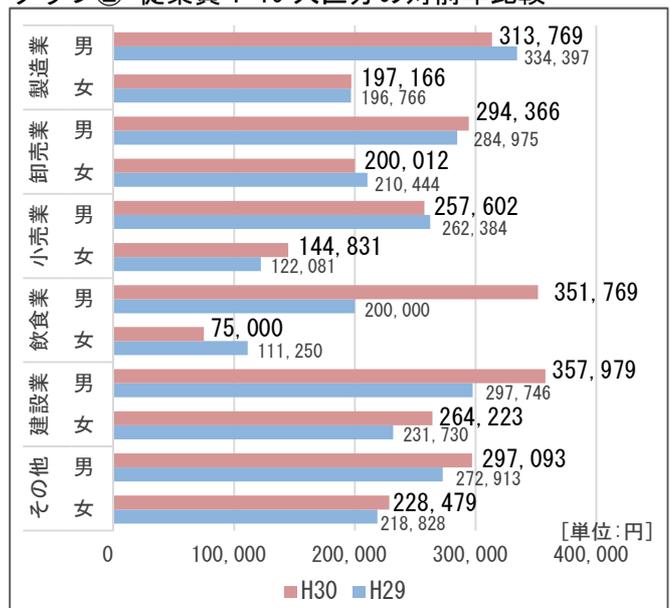
平成30年12月に支払われた所定内賃金(基本給に諸手当を加えたもの)を規模別でみると、「従業員1～19人」の区分では、建設業のみが男女ともに全業種の平均賃金を上回っており、製造業、卸売業、小売業では男女ともに全業種平均の賃金を下回っている。

「従業員20～49人」の区分をみても、男女ともに全業種の平均賃金を上回っているのは、建設業のみという結果になった。

また従業員規模に比例して平均賃金の増加がみられるのは、卸売業男子、小売業男子・女子、飲食業女子の4区分のみで、逆に製造業男子、その他の業種女子では平均賃金が減少する傾向がみられた。

「従業員1～19人」区分の平均賃金を前年と比較すると、男子では卸売業、飲食業、建設業、その他の業種が昨年の平均賃金を上回っており、女子では製造業、小売業、建設業、その他の業種が前年の平均賃金を上回っている。

グラフ② 従業員1-19人区分の対前年比較



③業種別パート社員等平均時給額

区分	事業所数	パート数	H30 平均時給額	H29 平均時給額	時給額伸び率	H30 最高時給額
全業種平均	113社	399人	973円	994円	▲2.1%	—円
製造業	60	213	972	950	2.3	2,000
卸売業	6	23	957	920	4.0	1,600
小売業	11	37	932	904	3.1	1,030
飲食業	10	54	939	932	0.7	1,200
建設業	7	13	1,073	1,292	▲17.0	1,500
その他の業種	19	59	1,014	968	4.7	1,300

平成30年に支払われたパート社員等の平均時給額は、全業種平均で973円となっている。業種別でみると、建設業が1,073円と最も高く、次いでその他の業種が1,014円、製造業が972円の順となっている。

業種別に前年からの時給額の伸び率をみると、卸売業が+4.0%、その他の業種が+4.7%と、2つの業種で伸び率4%を超えた。一方で建設業では▲17.0%となっているため、平均時給額の伸び率は▲2.1%となっている。

賃金実態調査の報告書については、宇治商工会議所webページ(<http://www.ujicci.or.jp/>)で公開しています。

——— 西本 浩

「マル経融資」利子補給制度で断然お得！

金融

マル経融資（小規模事業者経営改善資金）とは、小規模企業の経営を金融面からサポートするため昭和48年に創設されたもので、商工会議所の経営指導を受けて経営の改善をしていこうとする方が、商工会議所の推薦により、**無担保・無保証人・低金利**で日本政策金融公庫から融資を受けることができる国の融資制度です。

宇治商工会議所では、昨年度78件7億5335万円の事業資金を推薦しており、経営改善に必要な資金の調達をバックアップしています。

借入から当初3年間に支払った金利分について、年1.4%を上限に返還される「宇治市利子補給制度」があり、金利負担も軽減されますので、事業資金の調達をお考えの方は、ぜひご活用ください。

対象者 常時使用する従業員が20名（商業・サービス業は5名）以下の事業所

融資限度 2,000万円

資金使途 運転資金：仕入資金、掛決済資金、給与・ボーナス支払等

設備資金：機械・什器・車両の購入、工場・店舗改装資金等

金利 1.21%（令和元年8月31日現在）※宇治市利子補給制度あり

融資期間 運転資金7年以内、設備資金10年以内

令和元年8月31日現在の金利が、宇治市利子補給制度の上限1.4%を下回っていますので、借入当初3年間の金利が実質0%となっています。

利子補給制度の適用には、一定の要件がありますので、詳細は、宇治商工会議所商工課（TEL23-3101）まで、問い合わせください。

—— 平尾知美

宇治橋通り商店街のクラフトビール夜市が盛況！

商店街イベント

宇治橋通商店街振興組合（佐脇至代表理事）では、8月3日にスマイルサタデー「クラフトビール夜市」を開催されました。今年も、イベントにあわせて、煎茶の苦味を生かした同商店街オリジナルのクラフトビール「土曜日の宴」を限定生産し、前回の280杯を上回る約450杯が完売しました。

京都、大阪、兵庫、三重から人気のクラフトビール醸造所13社が出店したほか、商店街加盟店のビールに合う“自慢の逸品”販売ブースや、小倉の商店主グループが出店したグルメ屋台ブースには長い行列ができ、来場者はこだわりのビールとグルメを堪能されていました。商工会議所からは「チャチャ王国のおうじちゃま」の出演と、こだわりのアクセサリーやバッグなど手作り品を販売する「チャレンジショップ」10店舗が出店したほか、ライブイベントや京都文教大学の学生による子供向けのうちわ作り体験など、大人から子供まで楽しめるよう行政や大学、地域の団体が商店街と連携してイベントを盛り上げ、約1万5千人の人出で賑わいました。



来場者で賑わう宇治橋通り商店街

—— 西江将就

お得なお店巡り「オグマニア 2019 オータム」

9月7日～

小倉地域の商店主が集まり結成した“宇治・小倉商店ネットワーク”の3回目となる地元活性化イベント『オグマニア 2019 オータム』が開催されます。

このイベントは、小倉地域のお店を巡って、小倉の街を楽しんでもらうスタンプラリー形式のものです。48店舗が参加され、飲食店では食事をしていただき、物販・サービス店では買い物せずに来店するだけでもスタンプがもらえ、少しでも多くの方に景品が当たるようにリニューアルされています。各店舗で5個スタンプを集めると抽選に応募ができます。期間中だけ500円・1000円のスペシャルメニューを提供する飲食店や割引サービスや楽しいイベントを開催する店舗もあります。小倉の魅力が再発見でき、家族で楽しめるイベントになっていますので、ぜひご参加ください。

開催期間 9月7日（土）～23日（月）の17日間

オープニングイベント

日時 9月7日（土）16:00～

場所 京都銀行小倉支店駐車場

パンフレットは、現在作成中で、参加店舗で配布予定です。詳細は、宇治・小倉商店ネットワークのfacebook (<https://ja-jp.facebook.com/ogura.net/>)をご覧ください。

—— 福富頌子



ケント・ギルバート氏が語る「平成から令和へ日本の未来」 青年部

宇治商工会議所青年部(藪内信幸会長)では、「平成から令和へ日本の未来」をテーマに、人気タレントで弁護士のケント・ギルバート氏をお招きし、講演会を開催します。本年5月から日本の元号は令和に変わりました。私たちが過ごしてきた平成の約30年間、そして昭和の終戦からの復興、バブル経済の崩壊、中国の台頭など日本を取り巻く様々な出来事がありました。

そこで自他ともに認める大の親日家として、アメリカ・日本両方の観点から歴史や経済について語ることができるケント・ギルバート氏に、外国人として見た日本の良い点、変わっている奇妙な点など講演いただきます。

開催日時 9月27日(金) 18:00~20:00

開催場所 宇治商工会議所 3階 大会議室

講師 米カルフォルニア州弁護士/タレント **ケント・ギルバート氏**

詳細・申込みは、中挟みちらし10頁をご覧ください。

問い合わせは、宇治商工会議所業務課(TEL23-3101)まで。

——— 澤本匡人

宇治商工会議所委員会・団体活動報告 8月開催

青年部(YEG)会員拡大事業(藪内信幸会長、小谷英一会員拡大委員長)

8月23日開催：5年間で会員数200%UPを達成された岐阜県関YEGのメンバーを講師として招き「会員増強の手法」を学びました。会員勧誘の成功事例を講演いただいた後、グループディスカッションを実施。入会予定者リストや進捗管理データを会員で共有することや、魅力ある事業を行うことの大切さについて活発に意見交換を行い、今後の活動に活かせる実りある事業となりました。



青年部 会員増強の手法について
グループディスカッション

役員議員研修運営特別委員会(中村健治委員長、吉田實子・小西敏博副委員長)

8月23日開催：7月に台湾で実施した令和元年度役員議員研修事業と第26期委員会活動について報告を行いました。

宇治商工会議所で行う検定試験 9.10月受付

珠算検定試験

申込期間 ~9月26日(木)

試験日 10月27日(日)

受験料 1級2,340円、2級1,730円、3級1,530円

珠算検定試験の申込みは、宇治商工会議所窓口にてお願いいたします。

ビジネスマネジャー検定試験

申込期間 ~9月27日(金)

試験日 11月10日(日)

受験料 6,600円

ビジネスマネジャー・カラーコーディネーター・ビジネス実務法務の申込みはインターネット(<http://www.kentei.org/>)または検定センター(TEL03-3989-0777)になります。

カラーコーディネーター検定試験

申込期間 9月17日(火)~10月18日(金)

試験日 12月1日(日)

受験料 1級9,620円、2級7,480円、3級5,340円

ビジネス実務法務検定試験

申込期間 9月24日(火)~10月25日(金)

試験日 12月8日(日)

受験料 1級11,000円、2級6,600円、3級4,400円

——— 福富頌子

